



Microsoft DefenderはWindows標準搭載の無償で利用できるウイルス対策ソフトです。定期的に、セキュリティ対策状況の確認やウイルススキャンを行いPCを安全に使用しましょう。

Defender起動方法 (Windows11の場合)

デスクトップの右下にあるDefender アイコンをクリックします。隠れている場合は、 をクリックすると表示されます。



活用方法

【1】セキュリティ対策状況を確認する

ホームの【セキュリティの概要】の表示内容から、各機能の対策状況の確認が可能です。

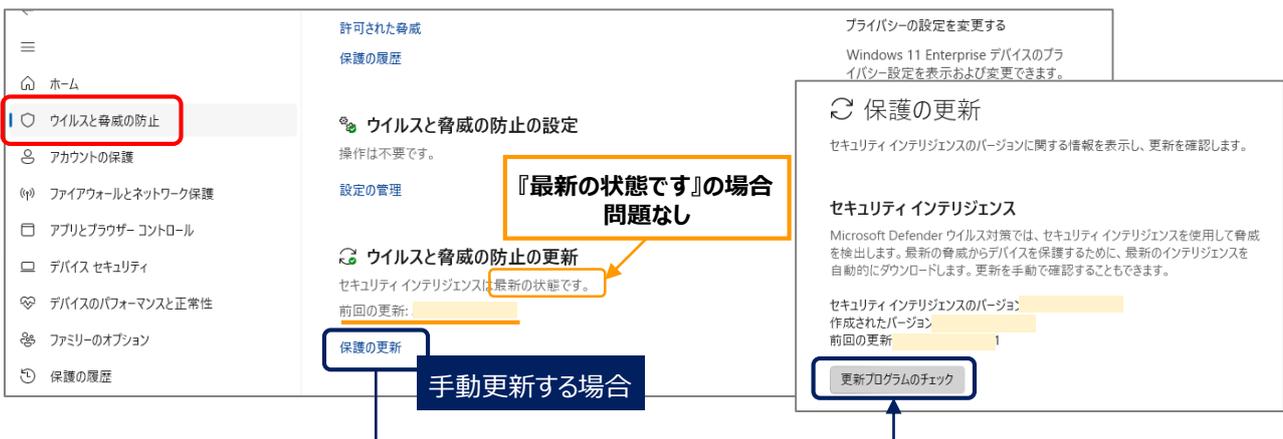
※『脅威が見つかりました』や『処置が必要です』の場合は、処置が完了するまで学内ネットワークへ接続しないでください。

	表示メッセージ例	対応内容	注意
	・操作は不要です	問題は発生していません。そのままご利用ください。	学内ネットワークに接続し利用可能です。
	・脅威が見つかりました ・処置が必要です	何らかの問題が発生しています。 内容を確認し、必要な処置を行ってください。 不明な場合は、情報科学センターへご相談ください。	必要な処置が完了するまで、 学内ネットワークへ接続しないでください。 (Wi-FiをOFFにする、LANケーブルを接続しない)



【2】セキュリティパッチの更新状況を確認する/最新版のセキュリティパッチに更新する

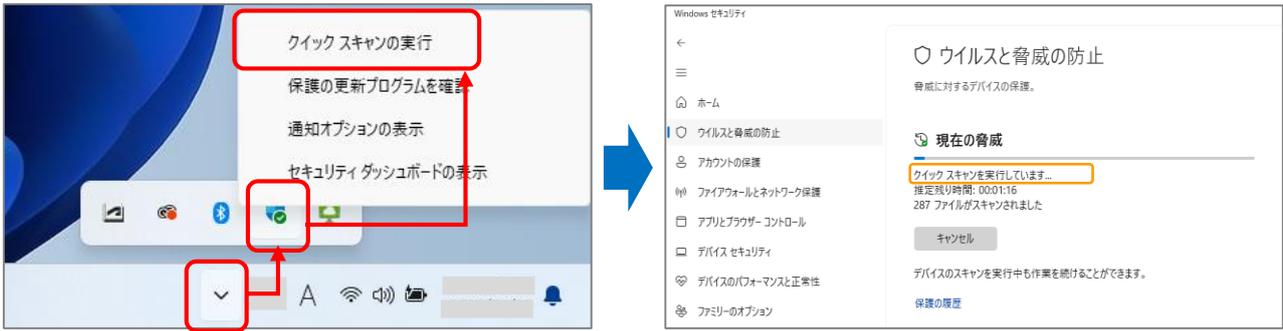
セキュリティパッチはPC起動中に自動で最新版に更新されます。『最新の状態です』の場合、そのままご利用ください。最新の状態ではない場合は、手動更新を行い最新の状態を利用しましょう。





【3】ウイルススキャン(クイックスキャン)を行う

1) Defenderアイコンを右クリックし「クイックスキャンの実行」を選択すると、簡易版のウイルススキャンが始まります。



2) ウィルススキャン完了後の結果が『0個の脅威が見つかりました』の場合は、問題ありません。そのままご利用ください。脅威が発見された場合は、内容を確認し必要な処置を行ってください。

※脅威の対処について不安な場合は、情報科学センターへご相談ください。



※[参考]ウイルススキャン(フルスキャン)を行う

フルスキャンでは、PCのハードディスク上すべてのファイルとプログラムの検査ができます。「スキャンのオプション」をクリック後、「フルスキャン」を選択し「今すぐスキャン」をクリックします。



その他のMicrosoft Defenderに関する詳細は、Microsoft社Webサイトをご参照ください。

[Windows セキュリティ アプリの概要](#)